

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		とらびっこ					公表日	2026年2月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		学習室と遊ぶ部屋を分けることで、児童が宿題等に集中しやすい環境を心掛けている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		余裕をもって配置している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		1ヶ月に1回以上、環境整備を実施している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		勤務の関係で参加できていない職員には、共有事項回覧板を用意し、出勤時の打ち合わせや勤務終了時の引継ぎの際に意見交換を行い、職員全体で業務改善に努めている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		アンケート以外にも日頃の保護者とのコミュニケーションを大切に、業務改善に繋げている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		今後、検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・おおむね月1回以上、キャリアアップ研修を行っている。また、外部のセミナーやオンラインによる研修にも積極的に参加し、全職員(パート含)に研修内容が共有されている。			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページを用いて、公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・複数の参考資料を基にアセスメントツールを作成し、使用している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・主任を中心に運動プログラムの作成、見直しを行っている。 ・学校休業日は児童のリクエストを取り入れる等の工夫を行っている。			

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・担当を週替わりにすることで様々なプログラムを用意できている。 ・児童が楽しみながら活動できるよう、定期的にミーティングや研修を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		集団活動や運動療育が中心だが、一人ひとりのニーズととらびっこの支援方法を組み合わせて作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		活動内容や送迎の確認、前日の支援の振り返り等を行っている。また、必要に応じてメモを作成し、送迎ミス等の内容工夫を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		勤務時間の関係で、支援後の打ち合わせは難しい時もある。緊急性のみの打ち合わせ、伝言板、次の日の朝会、ミーティング等を活用し、必ず振り返りを行い共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援記録の書き方について、研修やマニュアルを作成し職員間で共有しやすい環境を作っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的なモニタリングと共に、職員間の意見交換も行き、計画の見直し改善を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		主に児発管が会議に参画し、支援に支障をきたさない範囲で準児発管も参加できるよう配慮している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・各学校の担任の先生に自事業所の連絡先を伝え、変更時に対応できるようにしている。 ・保護者の承諾を得て、可能な学校は緊急連絡メールが届くように登録している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		保護者や相談支援員と相談し、可能な範囲で事業所等への訪問をし情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			現在該当者はいないが、今後、対象児童が出てくる場合は必要な情報を提供し、協力していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		必要に応じて参加していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		長期休暇中に外部の子どもたちと一緒に活動する機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1		必要に応じて参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡帳を介して子どもの様子や成長を伝えている。また、送迎時の保護者とのコミュニケーションを心掛けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		ペアレントトレーニングは行っていないが、課題に対しての支援方針や方法等の助言を行っている。また保護者との情報交換や相談援助を大切にしている。	・御家族参加型の研修の機会は、提供できていない。 ・日々の支援や業務で時間がつくれていない為、ご家庭からリクエストがあれば今後検討していく。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に書面にて説明を行い、同意をいただいている。お出かけ等の臨時集金の際はレシートや領収書を発行している。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		子どもには通所時に、保護者には送迎時や担当者会議の時に、意向や要望の聞き取り（アセスメント）を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者からの相談は随時受け付けており、児発管を中心に支援している。必要な場合には職員間で共有し対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		親子レクリエーションを開催している。	時間や労力が足りていない。今後、リクエストがあれば、研修会等の実施を検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情があった場合には、会議等に対応策を考え、改善に努めている。苦情解決セミナーに参加し、職員間で情報共有を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		月1回おたよりを発行している。また、ホームページにて、共有しておきたい書類を公開し、いつでも見られるようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報についてのアンケートを実施し、それに沿って取り扱っている。個々への配布物についてダブルチェックに努めている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		近隣の公園で活動することが多いため、地域の方々とのコミュニケーションをとる機会が多い。	地域住民を招待する等はできていない。今後、必要に応じて検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アレルギー持ちの子どもに関しては、保護者から対応方法を伺い、対応に努めている。また、おやつや昼食等、食事提供時はアレルギー表示を必ず確認し、購入しないようにしている。毎年アレルギーに関するアンケートを実施し確認をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			